

平成30年度 独創的研究助成費 実績報告書

平成31年3月29日

報告者	学科名	保健福祉学科	職名	助教	氏名	井上祐介
研究課題	日韓における医療・福祉経営研究の動向と課題					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	井上祐介	保健福祉学科・助教	医療福祉マネジメント, 地域福祉	研究総括, データセット作成と分析	
	分担者	鄭丞媛	国立長寿医療研究センター・研究員	老年社会科学	データセット作成と分析	
研究実績の概要	<p>1. 背景</p> <p>日韓両国では高齢化が急速に進行している。2018年の高齢化率は、日本27.7%、韓国14.3%である。高齢化の進展に伴い、日本では2000年に介護保険制度が施行され、韓国では2008年に日本の介護保険制度にあたる老人長期療養保険制度が施行された。医療・介護需要の急増と、医療と介護保険制度の施行に伴い、日韓ともに介護施設が増加し、韓国では老人病院も増加した。</p> <p>日韓においては、医療や介護需要の増加と社会保険制度の整備に伴い、医療・介護産業は成長産業に位置付けられている。しかし、成長産業であっても、経営判断を誤れば倒産・廃業することがある。日本では2017年の倒産・廃業件数は、医療機関27件、介護施設115件である（東京商工リサーチ、2018）。韓国は、介護施設の数値は確認できないが、2016年の医療機関の倒産率は年間で約7%であり、日本よりもかなり高い（韓国保健産業振興院、2017）。したがって、医療・福祉領域においても経営の視点が求められるといえる。ただし、医療と介護領域の経営については、事業の継続性という視点以外にも、患者や利用者の生命の保護や、多額の公費や社会保険料が投入されていることから、医療の質や介護の質の確保に対する社会的要請の視点も考慮する必要がある。</p> <p>他方で、これまでの医療・福祉経営研究についての現状や課題について総括した研究は行われていない。さらに、制度や政策に関しては活発に行われている国際比較研究も医療・福祉経営研究の領域では行われていない。</p>					

※ 次ページに続く

研究実績
の概要

2. 目的

本研究では、第一に医療・福祉経営研究の現状と課題について明らかにし、今後必要となる医療・福祉経営研究領域への示唆点を得ることを目的とする。第二は、社会・経済・文化的に似ているとされる日本と韓国を対象とし、国際比較の視点から日本の医療・福祉経営研究の課題について明らかにすることを目的とする。

3. 方法

医療・福祉経営論文を抽出するため、論文データベースとして日本語論文は医中誌、韓国語論文は RISS を用いた。経営学を構成する領域として、①経営戦略、②マーケティング、③組織行動、④人的資源管理、⑤会計、⑥サービス・マネジメントをせめてし、それらの関連用語を入力し、学会誌が発行する原著論文のみを抽出した。分析対象期間は、介護保険制度施行 5 年前から 2018 年までとした（日本は 1995 年から 2018 年、韓国は 2003 年から 2018 年）。その結果、医療経営の論文として日本 205、韓国 506、福祉経営の論文として日本 40、韓国 141 を抽出し、これらの論文の内容について分析した。

4. 結果・考察

第一は、組織行動とサービス・マネジメントの研究が他の領域に比べて多く行われている。その中でも特に組織行動に含まれる職務満足の研究とサービス・マネジメントに含まれる患者・利用者満足の研究が多数を占めている。これは日本と韓国、医療経営と福祉経営研究の両方に共通している。

第二は、韓国は多変量解析を含む量的研究が中心であるのに対して、日本は職務や患者満足度の研究を除くと事例研究が少なくない。

第三は、日本よりも韓国の方が医療経営研究、福祉経営研究ともに活発に行われている。論文の検索期間は日本（24 年分）よりも韓国（16 年分）の方を短く設定したものの韓国の方の研究数が多かった。これは、韓国は日本のように医療圏ごとの病床数の制限がないことなど、病院や施設間の競争が激しい環境にあることが影響している可能性があると思われる。

今後は、今回の分析結果を踏まえて、研究がほとんど行われていなかった領域を対象とした研究の必要性の検討および日本における医療・福祉経営の構成要素などについて検証していく必要があると考える。また、本研究では日本と韓国で発行された論文のみを対象にしたことから結果の解釈には限界がある。

表 1 日韓における医療経営研究と福祉経営研究の論文数

領域	医療経営		福祉経営	
	日本	韓国	日本	韓国
経営戦略	14	47	2	22
マーケティング	6	39	2	10
組織行動	86	247	22	62
人的資源管理	0	5	1	3
会計	38	30	1	4
サービス・マネジメント	61	138	12	40
合計	205	506	40	141